



CAMPHOR
TREE
VILLAGE

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要 協賛行事

学校法人武蔵野大学創立100周年記念事業
カンファ・ツリー・ヴィレッジ



シンポジウム

はじまりの集い

「よき祖先の声に耳を澄ます」

2023年4月29日(土)・祝

14:20 - 16:20

※13:30からの法要に引き続いて開催

於:京都・西本願寺
御影堂

学校法人武蔵野大学創立100周年記念事業のひとつであるカンファ・ツリー・ヴィレッジは、建学の精神であるブッダ・ダルマ(仏法)の根本をふまえ、現代世界の諸課題の解決に向けダルマの意義と貢献の可能性の論究及び提言等に取り組み、もって世界の平和と安穩のために寄与することを目的としています。

「わたしたちは、いかにしてよりよき祖先になれるか」という問いをめぐり、過去と未来に思いを馳せ、わたしたちがいかに現在を生きるべきかについて考え、実践していくきっかけを作っていきます。今回はヴィレッジの「はじまりの集い」として、海外からのご登壇者に講演、対話を行っていただくシンポジウムを実施します。

本シンポジウムは、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年のご法要にあたっての協賛行事でもあります。西本願寺・御影堂という場にかれる、ブッダ、親鸞聖人をはじめとする「よき祖先の声に耳を澄ます」ヴィレッジに出かけてみませんか。

13:30 -

法要 (休憩を挟み、シンポジウム開会となります)

<プログラム>

14:20 - 14:30

開会の辞: 武蔵野大学学長 西本照真

14:30 - 14:45

オープニングメッセージ: デービッド・アトキンソン氏

14:45 - 15:00

ビデオメッセージ (オンライン): ローマン・クルツナリック氏

15:00 - 15:30

講演: マリエム・ジャメ氏

15:30 - 16:20

対話: ブータン王国 ケザン・チョデンT・ワンチュク王女殿下
エフライム・エディ・ホセ氏

響き合って、未来へ。

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



Musashino University E.F.

学校法人 武蔵野大学

<お申し込み/お問い合わせ>

<https://camphortreevillage.com/>



学校法人武蔵野大学創立100周年記念事業 カンファ・ツリー・ヴィレッジ

「よき祖先の声に耳を澄ます」
はじまりの集い
シンポジウム



ブータン王国王女殿下

Her Serene Highness Kesang T Choden Wangchuck/
ケザン・チョデンT・ワンチュク王女殿下

ブータン王国の現国王の従妹であり、「タンカ修復センター」のエグゼクティブディレクターとして、現代的な価値を広め、僧侶たちが図像学や管理の方法などを学び、自ら修復・管理・維持ができるようセンターを率いている。ブータンについての著書や文献も発表している。仏教への造詣を深めてほしいという家族の願いから、ニンマ派の大ラマであるディルゴ・ケンツェ・リンポチェに指導を受けていたこともある。



アジア絵画修復師

Ephraim "Eddie" Jose/エフライム・エディ・ホセ

日本に11年間滞在し、故半田達二氏のもとで修行を積み、1998年に外国人として初めて文化庁の文化財保護官に認定された。タンカの修復のほか、美術館やコレクターのために各国で絵画を修復し、保存修復に関する記事も数多く執筆。講演や実践的ワークショップも行っている。今年5月より、フィリピン屈指の私立総合大学であるデ・ラサール大学にて絵画修復の講師として5年間教鞭をとる。



社会起業家

Marieme Jamme/マリエム・ジャメ

世界経済フォーラムのヤング・グローバル・リーダー。女性に対するデジタル教育の普及活動を行う iamtheCODE の創設者。少女と若い女性へのグローバル支援を行い、SDGsを推進したとして、2017年、ビル&メリンダ・ゲイツ財団監修のグローバル・ゴールキーパー・アワードで「イノベーション賞」受賞。同年、BBCの「女性100人」に選出された。



株式会社小西美術工藝社 代表取締役社長

David Atkinson/デービッド・アトキンソン

小西美術工藝社代表取締役。元ゴールドマン・サックス証券金融調査室長。裏千家茶名「宗真」拝受。オックスフォード大学「日本学」専攻。2009年、創立300年余りの国宝・重要文化財の補修を手がける小西美術工藝社入社、取締役就任。2010年代表取締役会長、2011年同会長兼社長に就任し、日本の伝統文化を守りつつ伝統文化財をめぐる行政や業界の改革への提言を続けている。



文化思想家

Roman Krznaric/ローマン・クルツナリック

イギリスの文化思想家。オックスフォード大学で政治社会学の博士号を取得後、ケンブリッジ大学とシティ大学ロンドンで社会学と政治学を教え、中央アメリカで人権活動に携わる。2008年、共同でロンドンに、「スクール・オブ・ライフ」を創設。以降、国連、オックスファムのアドバイザー。オブザーバー紙で「イギリスの傑出したライフスタイルの哲学者」と称された。



カンファ・ツリー・ヴィレッジについて

私たちは今、地球規模の課題、様々な対立に直面しています。対立とは、本来、分けようのない世界を生きている私たちが、よし悪しといった二つに分けるものの見方によって生まれると、ブッダは説きました。このような仏法の智慧を、世界の誰にでも開かれていくように「カンファ・ツリー・ヴィレッジ」というプロジェクトを立ち上げました。なお、カンファ・ツリーとは、国際的な仏教学者でもあった武蔵野大学の学祖・高楠順次郎(1866-1945)と、長寿の樹である楠(くすのき)の英語名Camphor Tree(カンファ・ツリー)から、そして、カンファ・ツリーの下に、世代や国を超えて人々が集い、長期的な思考を育む場所となるという思いを込めVillage(ヴィレッジ)と名づけました。